



平成 28 年 2 月 15 日

各 位

東京都新宿区西新宿 3 丁目 20 番 2 号  
株式会社クロス・マーケティンググループ  
代表取締役社長兼 CEO 五十嵐 幹  
(コード番号：3675 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役 CFO 小野塚 浩二  
(TEL. 03-6859-2250)

## 平成 27 年 12 月期通期(連結)業績予想と実績値の差異及び 特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 2 月 19 日に公表した平成 27 年 12 月期通期(連結)(平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日)の業績予想と本日公表の実績の差異及び平成 27 年 12 月期において特別損失を計上することについて、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 連結業績予想と実績値の差異について

(1) 平成 27 年 12 月期通期(連結)業績予想と実績値の差異 (平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 14,733	百万円 945	百万円 900	百万円 476	円 銭 26.39
実績値 (B)	14,859	1,233	1,185	559	30.81
増減額 (B - A)	126	287	285	83	-
増減率 (%)	0.9	30.4	31.7	17.4	-
(参考) 前期実績 (平成 26 年 12 月期通期)	8,141	536	521	230	(注1) 12.78

(注1) 株式会社クロス・マーケティンググループは平成 26 年 6 月 1 日付で 1 対 3 の株式分割を行っているため、前期実績の 1 株当たり当期純利益の数値については、分割調整後の数値を記載しております。

#### (2) 差異の理由

海外のリサーチ事業における既存子会社は概ね予定通りの売上高を達成するとともに、平成 27 年 12 月期より新規連結に加わった Kadence グループの一部の会社におきまして、進行基準の適用を開始したことに伴い売上の取り込みが増加したことにより、当初予想を上回って着地いたしました。国内のリサーチ事業においては、当初予想していた売上高には到達しなかったものの、リサーチ事業全体の売上高は 12,902 百万円(前回予想比 0.1%増)となり、概ね予定通りの結果となりました。

IT ソリューション事業及びその他の事業については、安定した成長を続けており、概ね当初予想通りの売上高となりました。

各利益につきましては、主に国内のリサーチ事業における子会社において、原価管理の徹底及び人員採用計画をコントロールした結果、売上総利益及び販売費及び一般管理費については、当初予想を下回って推移したことに加え、海外のリサーチ事業において、売上高が当初予想を上回って推移した

結果、営業利益、経常利益については、当初予想を大幅に上回る結果となりました。また、当期純利益につきましては、上記の理由に加え、平成 27 年 2 月 19 日に連結子会社化したリサーチ・アンド・ディベロプメント社の株式取得に係る負ののれん発生益等の計上及び Kadence Indonesia に対する減損損失を計上いたしましたが、当初予想を上回る結果となりました。

## 2. 特別損失の計上(連結)

Kadence Indonesia における事業環境の変化に伴い、今後の収益見込みを見直したため、平成 27 年 12 月期の連結決算において 173 百万円の減損損失計上することいたしました。

以 上